

平成22年度 事務事業点検シート

事務事業名	中心市街地活性化事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0305001		
			分割/統合					
			事業の分割/統合の内容					
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課		中心市街地活性化プロジェクト			
	款	土木費	連絡先		(078)918-5190			
	項	都市計画費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度		
	目	都市計画総務費	根拠法令・要綱等		中心市街地の活性化に関する法律、都市再開発法			
	事業	中心市街地活性化事業	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理			
第4次長期総合計画	(章)	第3章 機能的でゆとりとうるおいのあるまち						
	(節)	第1節 市街地の整備						
個別計画		中心市街地活性化基本計画						

事業の目的	対象(誰を・何を)	明石駅周辺から明石港にいたる相当数の小売商業者が集積し、都市機能が相当程度集積している中心市街地(60ha)					
	意図(どういう状態にしたいのか)	車社会の進展や郊外への大型小売店舗出店に加え、明石海峡大橋の開通による明石―岩屋航路旅客の大幅減少、明石駅前南地区の大規模小売店舗の撤退等により、衰退がすすむ中心市街地について、今後の少子高齢化社会を見据え、様々な都市機能を中心市街地に集積させ、車に頼らずとも市民にとって暮らしやすい、来街者にとって訪れやすい、コンパクトなまちづくりをすすめて中心市街地の活性化を図り、都市の持続的発展を図ることを目的とする。					
事業内容	<p>①平成20年度から、明石市中心市街地の活性化に関する施策を総合的かつ一体的に推進する「中心市街地活性化基本計画」の策定を進めている。平成21年度末に基本計画を取りまとめ、平成22年9月に国への認定申請を目指している。認定後、基本計画に位置づけた中心市街地活性化施策の進捗管理及びフォローアップ業務を行う。</p> <p>②大規模小売店舗跡地を含む明石駅前南地区の再整備を図る為、平成21年12月に当該地区における権利者により設立された「明石駅前南地区市街地再開発準備組合」に対して技術的援助を行う。具体的には、当該地区の共同化促進のための事業計画素案の検討支援、関係機関との協議調整支援、都市計画原案の作成支援等を予定している。</p> <p>③明石地域振興開発(株)は、TMO、タウンマネジメント機関としての役割を担っている。また、市が基本計画の策定を進める上で、地元関係者の意見を聴く機関として設置された「明石市中心市街地活性化協議会」の事務局としての重要な役割も担っている。平成20年度には、中心市街地において、商業実態調査を実施しており、活性化施策を検討する上で、商業活性化は必要不可欠な要素である為、この商業活性化について検討する業務を同社に委託する。具体的には、商業活性化専門家により、市場調査、中心市街地に必要な業種の検討及び明石駅前南地区の共同建替を考慮した中心市街地全体の商業群の構想等、中心市街地の商業活性化について継続的に検討していく予定である。</p> <p>④中心市街地活性化基本計画に盛り込む目標指標の1つである自転車・歩行者通行量について、認定後1年目となる平成22年度時点での効果測定を行う為、中心市街地通行量調査を行う。</p> <p>⑤明石駅前南地区再開発事業にともなう駅前広場を含む周辺道路整備の概略設計及び国道2号横断デッキの概略設計を行う。</p>						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				22年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	正規	アルバイト	再任用	その他
20決算	30,148	52,200	82,348	0	0	0	82,348	5.00	0.00	0.00	0.00
21決算	50,388	47,700	98,088	4,400	0	0	93,688	0.00	0.00	0.00	0.00
22当初予算	50,883	47,700	98,583	5,000	0	0	93,583	1.00	0.00	0.00	6.00

22年度当初予算明細	区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
	22年度当初予算明細	報償費	中心市街地活性化アドバイザー謝礼	500	委託料	明石駅周辺道路整備概略設計業務委託
旅費		内閣府中心市街地活性化担当室等と打合せ等	1,600	委託料	中心市街地活性化関連企画・調整業務委託	16,000
需用費		事務用品等	360	使用料及び賃借料	会場使用料等	400
役務費		光回線使用料等	49	負担金補助及び交付金	会費・研究会負担金等	274
委託料		中心市街地活性化基本計画策定業務委託	4,000			
委託料		中心市街地交通量調査業務委託	2,700			
委託料		明石駅前南地区再開発コーディネート他業務委託	15,000		合計	50,883

整理番号	0305001	事務事業名	中心市街地活性化事業
------	---------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	20年度	21年度	22年度見込み
	基本計画策定段階	基本計画を策定し、国から認定を受けることを成果指標とする	段階	検討	検討及び素案策定	認定申請及び取得
指標で表せない成果						

事業の評価（所管課評価）	項目	評価	説明
	必要性	高い	市民意識調査では、明石駅から至近の場所で、行政サービス、都市福利施設、観光案内機能等の充実が望まれており、また、商業実態調査では、空き店舗の顕在化、歩行者交通量調査では、国道2号以南の歩行者通行量の減少等の現状を踏まえ、魅力あるまちづくりを推進していくためには、中心市街地の活性化は必要不可欠である。
	有効性	高い	基本計画を策定し、位置付けた各種活性化施策を実施していくことで、中心市街地における行政サービス、都市福利機能の充実及び商業の振興を総合的かつ一体的に推進することができ、中心市街地の活性化には有効性が認められる。
	効率性	やや高い	事務用品のリサイクル及び会議資料をサーバに保存・供覧をする等ペーパーレス化を進め、事務経費削減に取り組んでいる。また、出張に関しても、同日に複数の関係機関と協議する等効率化を図っている。
●評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性（所管課方針）	項目	判断	説明
	事業の規模	縮小	平成22年9月に基本計画を国へ認定申請を行い、認定後、基本計画に位置付けた中心市街地活性化施策については、各事業課及び組織が実施していくことになる。中心市街地活性化基本計画策定業務としては、一区切りつけ、今後、中心市街地活性化施策の進捗管理及びフォローアップ業務に移行していく。
	手法の改善	維持	今後、基本計画に位置付けた中心市街地活性化施策の進捗管理及びフォローアップ業務を行う。
●事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 ●手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止			

今後の事業展開方針	
平成22年9月に基本計画を国へ認定申請を行い、認定後、基本計画に位置付けた活性化施策については、各事業課及び組織が実施していくことになるため、中心市街地活性化プロジェクトとしては、中心市街地活性化施策の進捗管理及びフォローアップ業務を行っていく。	

平成23年度の具体的改善内容（事業費増減要因等）	23年度予算事業費増減見込（千円）						
	対22年度当初予算比	合計	財源内訳				
			国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
	主な削減理由としては、平成22年11月に認定取得以後、中心市街地活性化基本計画策定業務及び中心市街地活性化関連企画・調整業務委託については、実施予定がなく、また、本年度に特定業務代行者が決定されることで、再開発コーディネーター他業務についても、削減の余地がある。	削減見込①	-10,000	-5,000	0	0	-5,000
		増加見込②	0	0	0	0	0
	差引①+②	-10,000	-5,000	0	0	-5,000	